

みなみたね 令和 2 年第 1 回定例会



議会だより

第 169 号

発行
令和 2 年 6 月 1 日

■発行責任者：南種子町議会議長 広浜 喜一郎 ■編集：議会広報編集委員会 ■住所：南種子町中之上 2793-1 電話 26-1111



七色観望台
(令和 2 年 5 月 14 日撮影)

令和 2 年第 1 回定例会が 3 月 4 日～18 日まで開催されました。

主な内容

一般質問 (5 名)	2 ～ 6
予算委員会報告 (総務文教委員会)	7
予算委員会報告 (産業厚生委員会)	8
産業厚生委員長報告 (所管事務調査)	9
産業厚生委員長報告 (陳情審査)	10
論点 (条例・補正予算)	11
特別委員会の設置について・編集後記	12

令和2年度の取り組みについて



濱田 一徳 議員

一
般
質
問

濱田 来年度重点的に取り組む施策は何か。

町長 町民生活に直結するものについて積極的かつ効果的に財源を投入していく必要がある。新規事業では、H3ロケット展示事業、宇宙観光コラボレーション事業、南部観光周遊ルート整備事業、地域食材等PR事業。

その他には、上中地区防災行政無線デジタル化整備事業、避難所案内看板作成、まちづくり公社の設立、住宅改修補助の継続。

道路維持補修工事では、松原阿竹線、平野下西目港線他7路線について歩道整備や排水路補修、区画線工事や維持補修等について要望を踏まえ実施していく。

漁港関係では、砂坂漁港、下西目漁港の防波堤護岸補修工事を実施する。

農政関係については、サトウキビプロジェクトエイト振興事業、平張施設整備事業、

農道本村2号線、小田地区ため池補修を要望を踏まえ実施する。

その他トレーニングセンター玄関部分補修工事、あおぞら保育園の冷却ミストシャワー設置等優先順位の高いと判断したものについて予算化した。

濱田 12月議会会で問題提起した焼却炉の件は、重点取り組みに入らないのか。

町長 即今、結論を出せないで少し時間を要すると判断した。

濱田 前年度の反省、検討結果は報告を受けているのか。

町長 事後検証は非常に重要である。議会での指摘事項や課題等については、報告を受け、対応可能なものについては、すぐに対応するよう指示を出している。

自然保護について

濱田 前之浜の景観が大きく変わってきた。沖合の砂の採取についての考え及び今後の対応はどう考えているのか。

町長 海砂採取の流れについては、5年毎に開催される鹿児島県公共事業等骨材調達協議会において、骨材調達の見通し、採取上限数量の提言が出され、毎年開催される

関係地域振興局での鹿児島県海砂採取対策委員会に於いて、砂利連等が漁協と調整を図った上で県全体の海砂採取予定量を調整決定するという流れである。採取業者から

は、県へ許可の申請を行い、県は市町村長へ許可書、命令書の写しを通知する流れである。

砂採取は自然界に大きな影響を及ぼし、十分な配慮が必要であり、採取量の減量化に向けたこれまでの経緯、影

新型コロナウイルス発生時の対応について

濱田 マニュアルはできているか。職員への周知は徹底されているか。

町長 現時点で島内での発生はないが、引き続き危機感をもって、保健所、医療機関との連携を強化しながら対策を講じたい。厚生労働省において感染症対策マニュアル等を作成しており、その啓発を行っている。職員へは課長会等で担当課長から説明をさせ、周知を図っている。



大崎 照男 議員

商工会と語る会での 要望について

大崎 令和2年度建設関係工事発注量確保は。

町長 第6次長期振興計画に基づき予算計上し国、県に対し要望を行い工事発注量の確保に努める。

大崎 工事発注を早くできないか。

町長 補助事業、町単独事業共に速やかな発注に努める。

大崎 道路伐採業務の単価アップを。

町長 単価の見直しは、検討する。

大崎 工事入札時の予定価格の事前公表はできないか。

町長 今後十分に調査研究をしてまいりたい。

大崎 空き家事業対策は。

町長 空き家を活用し定住化に取り組んでいる。

大崎 自衛隊誘致について、国、防衛省から町に話し合い要望はあるのか。

町長 自衛隊基地整備について説明を受けた。

大崎 ロケット運搬道路の計画についてJAXAの説明は。

町長 国、県に対し関係機関と連携し要望していきたい。JAXAからの話はない。

大崎 大型店舗誘致について町長の考えは。

町長 町主導での誘致を行う予定はない。

大崎 商店街の防犯カメラ増設の予定は。

町長 増設する計画はない。

大崎 空き店舗を利用した商店街の活性化ができないか。

町長 地域力を生かした個性ある商店街づくり支援事業を導入し推進を図りたい。

大崎 スポーツ合宿の誘致を行い、町の活性化につなげられないか。

町長 合宿を希望する団体については、受け入れを歓迎したい。

大崎 ロケットマラソン大会の復活ができないか。

町長 ロケット打ち上げ関連等もあり、今後充分に検討していきたい。

大崎 ロケットコンテストで歓迎イベントが必要では。

町長 各団体に協力要請を行い、郷土料理などのふるまいを行う。

大崎 南種子町と埼玉県秩父にある龍勢打ち上げ企画との共同イベントの考えはないか。

町長 イベント事業の充実は重要。充分に関係機関と協議を行いたい。

大崎 南種子町のイベントとその町のイベントとの関連滞在型イベントの具現化はできないか。

町長 滞在型イベントとしてロケットコンテストがあります。イベントを充実させ情報発信していきたい。

大崎 格安航空会社との折衝はあるのか。

町長 種子島空港利用促進協議会・種子屋久観光連絡協議会と一体となり、FDA、LCC等に増便や就航依頼等の要請活動を進めてまいります。

道路バリアフリー 障壁について

大崎 道路のバリアフリー化について、国から指示される前に取り組む考えは。

町長 円滑な通行等に十分配慮し、バリアフリー化を推進し、今後示される指針等も踏まえ十分検討しながら改善してまいります。

基幹産業の農業対策について



福島 照男 議員

福島 本町の農業総生産額は約32億円で所得は給与所得を含めても2億円位です。

今年度の農業関係予算は5億5千万円で毎年同程度の金額を投資していますが、その費用対効果は低く、何か対策を講じる必要があると考えます。そこで二つ提案です。

作物別に優良農家モデルの指定と育成を行い、その儲かる経営ノウハウを他の農家に普及する仕組みを構築したら希望が見えてくると思います。

町長 儲かる農家モデルを作ると言う事ですが、既に農家のご指導を頂きながら非常にやる気を持って取り組んでいる若い方もおります。そういう方が育っていく事が一番重要だと思っています。

農家の皆さんが本当に食べていける様な農業に繋げる為にそういうモデルの在り方に

については主管課を中心にしてしっかりと検証していきたい。

観光課の復活について

福島 現在本町の経済部門を担当しているのは企画課ですが、更に一生懸命頑張ってもらわないと本町の経済は伸びていきません。これだけ落ち込んでいく経済を引っ張るには一つの担当部署だけでは大変かと思っています。要は、観光部門やイベント関連は観光課を創設して行う。特にロケット関連に絡めた観光開発は本町の重要産業として育成する必要があります。

があります。企画課については地場産品開発やふるさと納税対策に取り組み、観光課と企画課の2つをメインエンジンとしてフル回転させて経済を引っ張る仕組みを作るべきだと思いますが、町長の考えを示してください。

町長 課を新たに設置改

変する事は条例案件でもあり、又首長が変わるたびに観光課が出来たり消えたりすることは如何なものかと思っています。課の新たな設置ではなく政策課題を担当する人事配置を検討したいと考えています。

JAXA内に於ける工事発注について

福島 地元業者の育成活用という観点からJAXA内で行われる小さい工事については地元優先枠を設けてほしいと考えますが、実態はどうなっているかお尋ねします。

町長 JAXAにおきましては一般競争入札が基本であり地元枠というのはありませんが、少額による場合は地域の中小企業・小規模事業者を見積もり先に含める努力をしているとの事です。

宇宙開発促進調査会と国等と意見交換会においても、

地元国会議員の方からも協力要請の発言があったと聞いており、町としても引き続き要請して参ります。

地場産品開発について

福島 ニガダケの商品化についてお尋ねします。

中種子町の竹屋野ニガダケ生産組合にお邪魔しました。現在15名の組合員で出荷しているそうですが、もっと出荷量を増やさないと消費地から相手にされないそうです。本町に於いても積極的に取り組むべきと考えますが。

町長 ニガダケは非常に人気があり以前本町でも行っていました。採取時に他人の山に入る等して大きな問題となりました。中種子町を参考にしながらしっかりとした組織体制作りが重要と考えています。



塩釜 俊朗 議員

高齢者のゴミ出し支援策について

塩釜 鹿児島県は高齢化率の予測をしており、南種子町は2025年40.7%、2035年46%、2045年50%と、高齢化率が上昇していく。本町の高齢者、障がい者数、要介護者数をお伺いしたい。

町長 令和2年1月末現在65歳以上の高齢者数は2002人、高齢化率35.64%となっている。障がい者数は452人、要介護者数は、266人となっている。

塩釜 平成24年3月定例会において、ゴミ出しの困難な高齢者、障がい者の自宅前まで直接回収ができるよう制度ができないかという質問をした。現在どのような方法で実施しているか。

保健福祉課長 平成28年4月から、介護保険事業の生活支援体制整備事業を実施している。地域ぐるみによる

高齢者等の見守り支援、生活支援及び介護予防の推進を図るため各地域に地域支え合い協議会を設置していただき、広報紙の配布時における、声かけゴミ出し支援などに取り組みんでいる。全地区で取り組みをお願いしているところでありますが、島間地区においては、平成30年度に地域見守り隊を結成し、希望者に対しゴミ出し支援や見守り、声かけ支援を行っている。

塩釜 総務省では、高齢者のゴミ出し支援策を発表した。経費の5割を補助するという事であり、国からも通達が来ていると思う。現在ゴミ出しのサポートを展開している市町村に、特別交付税を措置し必要費の5割を賄えるようにしていくとの事。高齢者等の世帯の増加を背景として、ゴミステーションまで自分で行くことが難しい人が増えている。本町が隔々までゴミステーションを作る訳にもい

かず本格的に検討すべきではないか。実情に合わせたルールを作れば、可能であると思われる。ゴミ出しが困難な高齢者などを対象としたサービスをすべきと思いますが、答弁を。

町長 令和元年11月19日に総務省から高齢者世帯に対するゴミ出し支援について通知があった。現在、ゴミ出し支援は、町の負担は約5分の1となっている。今後も各地区地域支え合い協議会と連携をし、島間地区の地域見守り隊が町内全地区においても展開されるよう取り組みを進めてまいりたい。あわせて特別交付税を活用した戸別収集サービスを含め支援体制の整備についてどの方法が効果的か検討いたします。

町長 ロケット打ち上げについても今後6回予定されており、打ち上げ時の宿泊の関係、そして結婚式、宴会関係など観光面においても多大な影響があることは間違いないところである。豊富な観光地を有する本町といったしては、団体旅行客の移動の時間を考えますと種子島全体の観光として影響があるものと考えている。



大型ホテルの営業終了による本町の影響について

塩釜 営業終了により、修学旅行、団体旅行を受け入れたホテルは、同じ価格帯のホテルが町外に偏れば、旅の選択が狭まる。島全体によくないという声を聞く。今後の南種子町の観光面への影響についてどのようなお考えか。

町長 ロケット打ち上げについても今後6回予定されており、打ち上げ時の宿泊の関係、そして結婚式、宴会関係など観光面においても多大な影響があることは間違いないところである。豊富な観光地を有する本町といったしては、団体旅行客の移動の時間を考えますと種子島全体の観光として影響があるものと考えている。

観光物産館トンミー市場 を道の駅に



名越 多喜子 議員

名越 観光物産館トンミー市場を「道の駅」という事で、視察に行きました。トンミー市場より小規模な道の駅でありながら、雰囲気の違い、観光客も多数来店していた。今までも道の駅について、一般質問をしているが、いまだに道の駅になっていない。当初予算にも申請費用が計上されていない。何か問題があるのか。

町長 市場の施設整備の関係、H3ロケットの実験機展示により周辺の整備もあり、総合的な整備を含め検討する必要がある。外注委託についても問題点を検討し精査すべきじゃないかという事でご理解いただきたい。

名越 前に道の駅について申請をしたとの事。結果コンサルタントに依頼をし、申請した方がよいのではとの事。西之表市でも「道の駅」構想の話があるようです。もし実現すれば種子島に1カ所あれば良いと、言う事になると思いますが、どのように考えますか。



▲トンミー市場

町長 企画課でもこれまでの経緯を踏まえてコンサルタント委託発注をした場合、すんなりいくか何も問題がないのか、クリアできているのであれば、申請の外注委託料についても大体把握している。駐車場・トイレ・公衆電話等の問題などの要綱があるようです。確認の上、進めるべきではないかと思う。

名越 トイレや電話等何の問題なのか、ある程度把握しているのであれば、トイレは駐車場を挟んで3カ所あり、早くしないと西之表市が名乗りを上げれば、手遅れになる

と思います。補正予算を組んでも2年度中にやるべき事案だと思いますがどのように考えますか。

町長 申請しても通らないのは、なぜか。何が問題なのか調査の上、今後早急に問題点を精査したいと思う。

公共施設の授乳室設置について

名越 トレーニングセンター内に授乳室がありませんか。若いお母さん達が毎日のように利用されています。皆さん困っています。設置について、どのような考えか。

社会教育課長 おむつ交換台については、多目的トイレに設置できるように予算計上している。授乳室については、スペースや安全面、改修費等を検討中で、管理室の一部を利用する方向で進めている。まとまり次第、最終協議する。

名越 各行事等に使用できる可動式簡易授乳室の考えについてどのように考えるか。

町長 指摘の可動式簡易授乳室施設については、導入可能と考えている。しっかりと調査をして対応できるよう検討していく。

人手不足について

名越 働きたいのに、働けない。今テレビ等でも、色々放映されています。この事は、ちよつとした手助けにより、気持ちが前向きになって、働く事に繋がると言われています。行政と雇い主と一緒に協力する事で、実現できるのではないかと思います。どのように考えますか。

町長 働きやすい環境づくりと言うのは非常に重要な課題だと思う。色々な問題があり、対応できる部分については一緒に考えたいと思う。

予算委員会報告

総務文教委員会 委員長 名越多喜子

総務文教委員会に分割付託された令和2年度南種子町一般会計予算審査の、経過と結果について報告致します。当委員会は3月5日と6日に全委員出席のもと、関係課長等の出席を求め、令和2年度予算編成方針及び内容等について、説明を受け、質疑応答にて審査を行いました。

企画課

本町の人口ビジョンにおける将来展望の目標達成に向けて策定した政策の展開を行う。

H3ロケット打ち上げ試験用実機の展示を行い、観光拠点整備を図る。

地域公共交通については、地域交通の利便性向上を図る。

ふるさと納税については、特色ある地場産品の充実を図りふるさと納税の増加に努める。

質疑 ふるさと応援寄附金は。

答弁 2月末で4060万円。5000万円は厳しい。

質疑 「未来会議」について。

答弁 現在8名。多ければグループに分ける。

質疑 「未来会議」の条例と規約は。

答弁 要綱を制定している。

質疑 メンバーへの費用弁償支給は。

答弁 無償である。

会計

一般会計及び特別会計の歳入歳出に属する歳計現金の扱

い、所得税・県民税・住宅資金等の歳計外出納及び保管株券・出損金等の有価証券の管理、各資金の管理運用。

質疑 基金の運用は定期預金以外の有効な運用方法は。

答弁 国債など勉強中。慎重に運用方法を検討している。

社会教育課

基本方針として、「町民が心豊かで温もりと生きがいに満ちた活力あるまちづくり」のために、町民の共存協働の地域づくりを目指す。

質疑 公民館活動の参加者が減少傾向にあるが対策は。

答弁 公民館会議等で参加について発信している。

税務課

適正な課税客体の把握と課税を基本にした税収確保

を行い、予算編成を行う。

質疑 地籍調査終了年度は。

答弁 令和2年度からの第7次計画(10カ年計画)で終了できるように計画したい。

学校給食センター

子供達の食に関する正しい知識や望ましい食習慣を推進し、地産地消に配慮し、安心安全でおいしい学校給食の提供に努める。

管理課

教育方針に基づき、心豊かな人づくりを目標に人間性豊かでたくましく生きる町民の育成と活力ある教育の振興を図る。

質疑 学校営繕費の中身は。

答弁 各学校の修繕要望に対し、概算見積り調査して優先順位を決め実施する。

選挙管理委員会

公職選挙法に基づき、公正かつ適正な選挙事務の職務にあたり関係者の資質向上と選挙の公正な執行に努める。

総務課

役場全体を総括して指導する職責もあり、行財政執行の指導、監視を強化、職員的能力向上に努める。交通事故の減少に努める。

質疑 浄化槽委託について。

答弁 入札を実施している。

以上質疑を終り、討論なく採決の結果全会一致で原案の通り可決した。

執行当局への申し入れ

●健全財政の観点から、自主財源の確保に努め、基金の取り崩しについては、慎重に対応すること。

A simple line drawing of a car in the foreground and a factory with a tall chimney in the background. The car is facing right, and the factory is behind it.

所管事務調査報告

産業厚生委員会 委員長 柳田 博

産業厚生委員会は、令和元年9月12日に、委員全員出席のもと閉会中の所管事務調査について協議を行った。

議をしてほしいとの結論となった。

同日、西海地区で実証しているアワビの養殖場の調査。

令和元年11月7日に、総合

農政課長、係長、担当、西海地

区公民館長の出席を求め、

「西海地区上立石・下立石集

落の農道整備状況の現地調

査を実施した。

西海地区全般に、農道の整

備が進んでいないのは、共有

地が、非常に多いのが要因で

ある。優良な農地が、荒廃して

いく原因でもあることから早

急な共有地解消に向け、地区

公民館・集落公民館共に協



▲平張り施設

次に島間大久保集落に実証試験を実施している、平張り施設を調査、午後、西之表市、議会事務局担当者、農政課主事の案内をいただき、伊関の

古田氏の施設と現和の牧瀬氏の施設を調査した。共にレ

ザーリーフファンを栽培して

おり、経費がかかるパイプビ

ニールハウスより育成も良く

野菜の栽培にも非常に良いこ

とが解り本町でも補助事業を

活用して奨励すべきものと考

える。

次に元年11月20日「シキミ・

ヒサカキ等葉物生産に関する

調査」を実施。植栽面積は、現

在シキミ13.6ha。ヒサカキ

10.4ha。組合員数24名とのこ

と。現在の課題として病害虫

対策、輸送対策、ほ場の水対

策、肥培管理等の問題がある

が、調査研究をし総合農政課

の協力も頂き、徐々に対策効

果もでてきているとのこと。

次に令和2年1月17日に

「焼却施設老朽化対策に関す

る調査」を保健福祉課長、担

当係長の出席を求め、現状の

施設等について調査を行った

結果、経年劣化が著しい事が

わかった。

次に1月29日枕崎市の産

業廃棄物処理を行っている、

有限会社大工園商店の焼却

施設を視察調査した。

栃木県佐野市にある株式

会社社雅の小型焼却炉を独自

で改良し産業廃棄物を焼却

している。焼却灰も少なく、水

冷却方式であるため、熱源と

しても利用可能でもあるとの

説明。

株式会社社雅の社長、有限

会社大工園商店社長とも様

々な意見交換ができた。本町

の施設等の改修についても試

算をしてほしい旨の依頼をし

た。

次の日1月30日県庁の廃棄

物・リサイクル課の課長補佐、

主査に対応いただき、本町の

焼却炉の状況や一般廃棄物の

処理、補助事業等について意

見を拝聴した。

「焼却施設老朽化対策に関

する調査」については、中間報

告とし引き続き継続調査とす

ることとした。

この他令和元年7月22日、

種子島セリ市視察等も実施

したことを報告し、産業厚生

委員会の所管事務調査の委

員長報告とします。

産業厚生委員会

陳情審査委員長報告 柳田 博

令和2年第1回定例会の

んでいる。

3月4日の本会議で付託された、陳情第2号「地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情」の審査を、3月9日に全委員の出席のもと開催した。

提出者鹿児島県たばこ耕作組合理事の出席を求め陳情の趣旨について説明を求めた。

国内のたばこを取り巻く環境は、複数回のたばこ税の引き上げ改正健康法の段階的な施行等喫煙規制強化の拡大等で非常に厳しい状況ではあるが、農家は自ら自信と誇りを持ちたばこ耕作に取り組

税収面からも貴重な自主

財源として、一定の役割を果たしている。本町にも5千万

円程度の税収がある。健康増

進法の目的である「望まない

受動喫煙を防止する」という

観点から地方たばこ税の一部

を充当し、環境整備に向け検

討をいただきたい旨の説明。

質疑 反収60万円程度と

聞くが必要経費は。

質疑 反収60万円程度と

聞くが必要経費は。

質疑 反収60万円程度と

聞くが必要経費は。

質疑 反収60万円程度と

聞くが必要経費は。

聞くが必要経費は。

る。しかしたばこ耕作は、専業で経営できる本町で数少ない作目の一つと考える。

次に執行当局の答弁とし

て、庁舎施設の喫煙場所は、3

カ所、区画を設け設置してい

る。令和2年4月より、室内

は原則全面禁煙、罰則規定も

あり、受動喫煙防止が努力義

務から義務化されることを、

2回広報紙で周知を図った。

質疑 たばこの喫煙と健

康(病気)との因果関係は。

質疑 たばこの喫煙と健

康(病気)との因果関係は。

質疑 たばこの喫煙と健

康(病気)との因果関係は。

質疑 たばこの喫煙と健

康(病気)との因果関係は。



質疑 たばこ税の一部を分

煙環境整備の財源として充当

していく考えは。

答弁 採択され、町長が施

策に対応するのであれば財源

として使える。

以上で審査を終了。

討論はなく、採決の前に可

否同数の場合は、委員長採決

で決定することを確認し採決

を行った。

その結果、陳情第2号は全

会一致で採択と決定した。

又令和2年3月18日の本

会議において、分煙環境の整

備に向け、その財源として地

方たばこ税の一部が充当され

ることを強く要望する意見書

を、衆参議員議長宛に提出す

ることとした。

以上で産業厚生委員会に

付託された陳情第2号の審査

経過と結果について報告しま

す。



論

点

条例

●南種子町第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

提案理由説明

令和元年度の人事院勧告に基づき、会計年度任用職員の給料表の改正を行うものです。

質疑 なし

●南種子町漁港管理条例の一部を改正する条例制定

提案理由説明

国から示された模範漁港管理規定の一部改正によるもので、工作物の占用設置を3年から10年に改めるものです。

質疑 3年から10年に延長された理由は何か。

総合農政課長 漁港施設の利活用を促進する目的です。

●南種子町営住宅条例の一部を改正する条例制定

提案理由説明

民法における債権関係規定の見直しで、敷金に関する規定の改正などです。

質疑 なし

●南種子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定

提案理由説明

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い基礎課税額に係る賦課限度額及び軽減判定の変更を行うものです。

賦課限度額は、現行61万円を63万円に、介護納付金課税額は、現行の16万円を17万円に改めるものです。

質疑 なし

一般会計補正予算 (第7号)の審議から

提案理由の説明

今回の補正は、予算の総額から3941万2000円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ57億6863万8000円とするものです。

今回の補正内容は、各事業の確定、執行残及び実績見込みによる今後の所要額の補正が主なものです。

繰越明許費については、計6件です。

歳出予算の主なものは、人件費については、職員の人事異動に伴うものです。教育費、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業費については、小学校費3720万2000円、中学校費951万5000円をそれぞれに追加するものです。

質疑 地域振興費ですが、新制度で2000万円の予算を計上していたが、実績はどうか。

企画課長 定住促進補助ですが、現在4件の申請実績です。参考ですが、新年度分の申請が既に3件あります。

質疑 空き家バンクの登録件数は。

企画課長 登録件数は、43件です。

質疑 温泉センターの管理費で光熱水費の増額原因は。

保健福祉課長 チップボイラーの故障により、灯油代の増額です。

質疑 温泉センターでは、熱源活用のための小型焼却炉施設の利用を進める計画ですが、進捗状況はどうか。

町長 小型焼却炉活用の先進地調査も行っていますので、施政方針でも述べたとおり、調査研究を進めますが、現状では白紙の状態です。

質疑 担当係長も2名調査に同行し、小型焼却炉でいいのかどうか、協議をお願いしているところですが、早急に協議を進めるよう指示していただきたいと思います。

町長 現在の補助事業の中で令和2年度においては、事業対象にならないとのことですが。

今後、環境問題も含めて調査研究をする必要があります。

質疑 雇用機会拡充事業の内容と、減額になった理由は。

企画課長 事業拡大と事業の創業開始の申請を見込んでいましたが、事業拡大事業のみの実績となったことから減額となったものです。

質疑 公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業の内容は。

管理課長 通信ネットワークを一体的に整備し、1人1台の端末を児童・生徒に提供する事業で、全国の学校現場で実施する国の事業です。

質疑 繰越明許費で橋梁工事の繰越理由を明確に。

建設課長 橋梁工事です。工事期間出水期を外すなどの必要があったためです。

特別会計補正予算3件及び水道事業会計補正予算についても併せて審議を終えまします。

発議

馬毛島移設問題調査 特別委員会設置に 関する決議

発議者 濱田 一徳

本町議会は、馬毛島移設問題（自衛隊施設・米空母艦載機着陸訓練候補地）の正確な情報を収集し、種子島・南種子町の将来にどのようなメリット・デメリットがあるのかを調査し、町民に正確に伝えることが責務であると考え、平成27年第2回定例会において「米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会」からの離脱を決議し同年第3回定例会において「馬毛島移設問題調査特別委員会」を設置し調査を実施した。

調査の結果については、平成31年第1回定例会で調査特別委員会からの報告がありその内容は、議会だより第165号で町民の皆様に報告したところです。

その後、防衛省から「馬毛島の土地取得」や「自衛隊施設整備のための現地調査実施について」の説明などが行われてきており、この国の動きに對しての具体的な調査が必要となってきました。

そこで、本町議会において、この馬毛島移設問題の調査の必要性から令和2年第1回定例会において、発議第1号、馬毛島移設問題調査特別委員会の設置を地方自治法第109条及び委員会条例第5条により発議し、採決の結果、賛成者多数により決議した。

今後、南種子町議会は、前回の調査に引き続き公正中立な立場で、関係機関等の説明を受けながら、議会独自の調査、研究を行い町民に正確な情報を提供してまいります。

総務文教委員会副委員長 の改選について

総務文教委員会副委員長の福島照男議員が辞任し、後任に、小園實重議員を選任しました。

ホームページの閲覧に ついて

左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると南種子町議会の議会だより（平成27年6月発行分以降）と定例会の会議録（平成27年第2回定例会分以降）の閲覧ができます。是非ご活用ください。

議会だより



会議録



議会を傍聴してみませんか

町民の皆様に、町議会の活動や町政の進め方などをよく知っていただくために、多くの方に傍聴していただきたいと考えています。

傍聴するときは、傍聴者名簿に住所・氏名・年齢を記入するだけで傍聴できます。

町議会の定例会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開催されています。開催日が決まりましたら防災無線でお知らせいたします。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎26-1111（内線280・281）

編集後記

5月1日には臨時会が開催され、新型コロナウイルス対策の国民一人当たり10万円給付金と子育て世帯への臨時特別給付金の補正予算を緊急可決しました。この議会広報が届く頃には給付が始まっていると思います。

田んぼは日に日に青さを増し、もうすぐ梅雨を迎える頃ですが、今年は世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るいその勢いは止まりません。5月20日時点で種子島内での発生は確認されていませんが、引き続き警戒が求められます。生命の安全確保が最優先でなければなりません。

長引く影響で本町の経済も町民の生活も大きな被害を受けています。口で言うのは簡単でこの危機を乗り越えるのは大変な事ですが、町民一体となり、終息の日が来るまで戦い続けましょう。健康には充分留意してお願いいたします。

議会広報編集委員会
文責 福島 照男